

ルネッサンス便り  
新キャラクター！

お名前募集中！



イラスト:サンセムサップ アンボン  
(朝日塾卒、岡大GD)

## 創刊！「吉備の国ルネッサンス便り」

私たちがみた楯築ルネッサンスフォーラム2023

～古代三都物語Ⅱ～

倭国統一の中心を担った古代三都(吉備・出雲・大和)。当時の吉備の国の力を裏付ける、全国最大級の「墳丘墓」が、倉敷市にあります。それが、楯築遺跡です。その楯築遺跡の歴史的意味と未来への役割をテーマに、各地域・各方面

から参加者を倉敷アイビースクエアにお迎えした「楯築ルネッサンスフォーラム2023～古代三都物語Ⅱ」が2023年11月25日に開催されました。



HPフォーラム音声記録集

弥生時代の「墳丘墓」としては全国最大級の大きさを誇る楯築遺跡(現倉敷市矢部)は、敷地内に給水塔が設置されてしまっていたところ、市民の声に耳を傾けた倉敷市長の判断で給水塔が撤去されることに。2023年1月28日に開催された「楯築ルネッサンスフォーラム2023」会場にて、倉敷市の伊東市長が、楯築遺跡の給水塔移転計画を高らかに宣言されて以降、周辺整備への機運がさらに高まっています。

「楯築ルネッサンスフォーラム2023～古代三都物語Ⅱ」最初のプレゼンターは、なんと中学1年生。SNSを通じて古墳の情報を発信している岡山市の中学1年生「古墳めぐりすとはにおくん」こと坂東郁仁さんが、吉備の古墳や出土品の魅力を紹介し、吉備の古墳の活性化に向けて魅力を発信していく大切さを発表しました。



その後、楯築遺跡の魅力と重要性が各プレゼンターから発表されるとともに、その復元整備をはじめ造山古墳など周辺の重要な遺跡を軸に、歴史散策コースの整備や、国立博物館の誘致開設など、21世紀にふさわしい、誇りある「吉備歴史エリアの未来予想図」が公開されました。



実は、同フォーラムには、岡山大学・香川大学・関西学院大学・朝日塾中等教育学校・芳泉高校・岡山大学附属中学校の学生たちもボランティア・スタッフとして参加しておりました。当初、私たち学生ボランティアは、チラシの封づめや受付、古代衣装をまよっての会場へのご案内のみを行う予定でしたが、吉備に歴史的意味や価値を見出した専門家や芸術家の声、市民の声に耳を傾ける市長(倉敷市の伊東香織市長、岡山市の大森雅夫市長)の声、そして岡山の重鎮の皆さまの前で堂々と語る直前であるにも関わらず、私たちとチラシの封づめなど、

進んでボランティア活動に勤しむ「古墳めぐりすとはにおくん」こと坂東郁仁さんに感化され、本紙「吉備の国ルネッサンス便り」を発行することにいたしました。つたない文面ですが、吉備の歴史を再認識し、未来予想図の実現に近づけていく一助になれば幸いです。

## フォーラム参加の御礼

皆様、昨年11月25日の倉敷アイビースクエアでのフォーラム、翌26日のウォークイベントに多数のご参加を頂き、誠にありがとうございました。

文化庁の田中課長からは、民官産一体となった倉敷方式を他に先駆けて是非成功させてほしいとのエールを頂戴しました。続いて、禰宜田先生をはじめとした登壇者より、積極的なご意見を賜り、無事終了。今後は圧倒的なコンセプトを持つ復元プランや開発プランを提案できればと思います。皆様にも是非引き続きお力をお貸しくださるようお願い申し上げ、御礼の言葉とさせていただきます。

(実行委員長:近重博義)

## 編集後記(次回予告)

皆様、こんにちは。今回から始まった「吉備の国ルネッサンス便り」の初代編集長となりました、岡山大学生の中園響です。このルネッサンス便りは私達若い世代を含め多くの方々に楯築遺跡および吉備の国の歴史を知ってもらい興味関心を抱いてもらうことで、この地域の歴史文化を繋ぎ継承していただく事を目的としています。次回のルネッサンス便りではフォーラムであった出来事や裏話を交えつつ、私達がインタビューした「ご参加の皆様の声」をお届けします！

(編集長:中園響)



ナガオ キナサ  
イラスト:長緒鬼無里(作家)



楯築フォーラムYouTubeリンク